

尾崎白浜地区

復興まちづくり協議会・地権者連絡会

議事要旨

記

■開催日時：平成30年10月13日（土） 14時00分～15時00分

■開催場所：尾崎白浜集会所

■次第

1. 市長からの挨拶
2. 本日の趣旨とこれまでの経緯
3. 土地利用計画について
4. 街路灯・防火水槽等の設置について
5. 今後の工事スケジュール
6. 防潮堤工事について
7. 消防屯所・集会所について
8. 住宅再建宅地対策補助金について
9. 意見交換

意見交換（住民から市への質問と回答）

質問 1

現在設置してある防災行政無線は津波浸水区域にあり、緊急の場合の使用が難しいと思うのだがどうなのか。

回答

防災行政無線は、津波浸水区域外の高台に一基増設を検討しております。

質問 2

避難路の見合わせの件は、今後何か方法があるのであれば整備していただきたい。

回答

当該避難路は民有地ですので、地権者や町内会とさらに協議させていただきながら、対応について検討していきたいと考えております。

質問 3

町内の道路について破損した箇所の舗装整備をしてほしい。

回答

現地を確認しながら、必要に応じて対応してまいります。

質問 4

大雨の際の避難場所が平田小学校になっているが、避難するタイミングを失ってしまうと避難場所に行く間に二次災害に遭うおそれがあるのではないかと。

回答

できるだけ早い段階で避難準備・高齢者等避難開始などの発令をする等、早めの避難をお願いしていますので、皆様は危険な地域に住んでいるということを認識していただいて、早めの避難をお願いいたします。

質問 5

尾崎白浜集会所を大雨の際の避難場所にすることはできないのか。

回答

こちらは地形上、土砂災害の危険があるところですので、今後は旧保育所の活用等について相談しながら、できるだけ良い方法をとっていきたいと考えております。

質問 6

AEDの設置場所の周知方法はどうすればよいのか。

回答

応援センターだよりで周知することとし、それ以外の方法は今後相談させていただきたいと思います。

【野田市長閉会挨拶】

それでは、閉会のご挨拶を申し上げたいと思います。

まず、本当に今日はいろいろとご意見をいただきまして、ありがとうございました。特に会長さんから災害時における対応の心配といたしますか、地域の安全ということで、一番悩みの種だというふうなお話だったかと思います。先ほど話をさせていただいておりました避難路につきましては、国のお金では直せないことは分かったということではございますが、そうはいつでも地域にとって大事な道路でございますので、今は民有地ですから、その土地の所有者がおられて、その方の林道ということで使っていると思います。

いずれ地域にとって大事だということでございますので、市としても十分認識をさせていただきながら、要は1回工事したからいいということではないわけで、常に通路の安全を確保しながら使えるようにしていかなければならないと考えております。行政としてどこまでできるかということできっき発言があったわけでございますけれども、市の所有ではないものですから、そこにお金を投入するというのはなかなかいろいろと皆さんの理解を得るのが大変なのです。そうはいつでも大事な道路だということについては我々も認識していますので、これを何とか継続的に直しながら、いざというときにも使えるようにしていくにはどうしたらいいかということで市としても考えていますから。

とりあえず補修もしていかなければならないという話もありましたけれども、これは地域会議でも出されているテーマでございますので、市としてもきちんとこれを準避難路的な、避難路ではないのですが、準避難路的な制度をつくって、市としてちゃんと応援をしていくと、こういう仕組みをつくれるかどうかを今検討しています。これは、尾崎白浜だけではなくて、他の地区にも似たような問題がございますので、そうしますと、他の地区の道路もそういう形で守っていくということになるかと思いますが、今それを検討していますので、よろしくお願いをしたいと思います。

喫緊の何か課題があって危険な状況であるというのであれば、これは早急に対策をしていかなければなりませんので、もう一回現場を見ながら対応していきますので、まず心配なさないようにしていただければと思います。

防災行政無線の話やAEDの話もありましたけれども、あとは避難場所です。いざという災害時にどうするかということが、やはりこの地域の皆さんにとっては最大の悩みだということを改めて感じましたので、先ほど危機管理監から保育所の跡地の利用という話がありましたから、早く決めて、地域の皆さんの安心を確保していきたいと思っております。これは町内会の会長さんや町内会の皆さんと引き続き協議をしながら進めていきますので、どうぞよろしくお願いをしたいと思います。

そういうことで、復興関係のほうは順調にここまで来ました。あとは、防潮堤と乗り越し道路が完成するのを待つばかりではございますが、このいわゆるまちづくり協議会自体を最後まで継続していきますので、引き続き定期的に意見交換の場を設けさせていただきます。最後に、防潮堤等が完成したならばぜひ盛大にといいますか、今までの8年になるのか9年目になるのか分かりませんが、地域の皆さんと今までの復興の姿について振り返りながら協議をして、締めくくりをさせていただければと、こう思っております。

来年は、天皇の退位の話もあって、今新聞等を見ると10日間休みだとかいろんなことを書いていますが、実は釜石も3月23日に三陸鉄道が開通します。これは大きなテーマです。それから、来年の3月中には花巻と釜石を結ぶ横断道の遠野―釜石間が完成します。今新町というところでジャンクションをつくっていますが、あれが来年の3月に完成して、行き来ができるようになりますし、こちらの三陸縦貫道、仙台から八戸までの区間ですが、こちらは今大船渡と荒川結ばれたわけですが、荒川から新町までのジャンクションも来年の3月に完成をすると。それから、釜石から大槌のほうに向けて、あそこの水海までも来年の3月に完成します。

ただ、片岸から大槌の間が来年の3月を越して、もしかしたら6月か7月か、いずれワールドカップには間に合わせると国のほうでもおっしゃっていただきましたので、来年の8月までには完成すると思いますが、3月には間に合わないということでございます。横断道と

縦貫道の釜石側のほうはほぼこれで完成するということになりますので、大きく環境が変わります。

あわせて、岩手県のほうで5月から防災復興プロジェクトを開始するというので、とりあえず釜石からスタートして、被災地ですね、陸前高田とか、大船渡、釜石、大槌、山田、宮古、久慈とか、こういったところでいろんなイベントをやりたいという話がありまして、そうしますと来年は3月ごろからいろんな行事が目白押しで忙しくなるわけでございます。

したがって、何とか早くこの復興関係の事業を一日も早く進めていきたいと思っておりますし、まず仮設に入っている被災された皆さんが、早くそれぞれの住まいの再建ができるように全力を尽くしていきたいと思っておりますので、まずはその点についてもご理解をいただければと思っております。

今日いただきました意見につきましては、答弁も含めてきちんと整理をさせていただいて、ニュースレターということで、また今日欠席をした方々にもお知らせをさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いをしたいと思っております。

引き続き全力を尽くして、こちらの地区の復興事業を進めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞ今後ともよろしくご指導とご協力のほどお願い申し上げまして、閉会のご挨拶にかえさせていただきます。本日はありがとうございました。